

富田江里子さんお話し会 フィリピンから母子保健、 「支援」を考える——助産師・ 富田江里子さんを迎えて

●日時

7月8日(火)18:30~20:30
(18:15 開場)

●会場

パルシェ7階 第1会議室
(静岡県静岡市葵区黒金町49)

●参加費

無料

●申し込み

不要(直接会場へ)

●主催

静岡大学人文社会科学部臨床
人間科学専攻

●問い合わせ先

白井千晶
e-mail: shirai.chiaki@shizuoka.
ac.jp

ビバ☆オンナヂカラ ~いのちを育む力~

【1回目 いのちってホントすごい!】

●日程

7月13日(日)

●内容

富田江里子氏 お話し会

【2回目 「快」から始めるカラダ
づくり】

●日程

7月20日(日)

●内容

奥谷まゆみ氏 お話し会&ちょっぴり
エクササイズ

●時間(以下、共通)

13:20~16:30
(13:05~受付開始)

●場所

多摩市民館3階 大会議室
(神奈川県川崎市多摩区登戸
1775-1)

●参加費

無料

●申し込み

6月18日(水)10:00~

先着60名

多摩市民館に來所・電話・FAX
で、氏名・性別・連絡先・参加会
をお伝えください。

●問い合わせ先

TEL: 044-935-3333

FAX: 044-935-3398

第50回日本周産期・ 新生児医学会学術集会

●会期

7月13日(日)~15日(火)

●会場

シェラトン・グランデ・トーキョー
ベイ・ホテル

(千葉県浦安市舞浜1-9)

●プログラム

会長講演「わが国の周産期の医療
の現状と今後の課題」楠田 聡
(東京女子医大母子総合医療セン
ター)

招聘講演「ゴリラの妊娠・出産・
育児から人間の進化を考える」山
極寿一(京都大学大学院理学研究
科教授・人類進化論研究室)

教育講演「胎児治療の今後」左合
治彦(国立成育医療センター周産
期診療部)

教育講演「早産児の早期介入によ
る発達支援(Parent Child Inter-
action Therapy)」加茂登志子(東
京女子医科大学女性生涯健康セン
ター)

ワークショップテーマ「産科危機
的出血への対応」「NCPRの今後
の展開」「先天性風疹症候群予防

の今後」「助産業務ガイドライン
2014—早期母子接触の注意点も含
めて」「周産期におけるチーム医
療の今後」ほか

●学会本部

東京女子医科大学母子総合医療セ
ンター新生児医学科

FAX: 03-5269-7615

e-mail: hq.jspsnm50.ac@twmu.
ac.jp

●問い合わせ先

株式会社 MA コンベンションコン
サルティング

〒102-0083 東京都千代田区麹町
4-7 麹町パークサイドビル402

TEL: 03-5275-1191

FAX: 03-5275-1192

e-mail: info@macc.jp

第23回 母乳育児シンポジウム

●日程

8月2日(土)・3日(日)

●会場

市民会館崇城大学ホール(熊本市
民会館)

(熊本県熊本市中央区桜町1-3)

●テーマ

「母乳育児の輪を広げよう」

●参加費

会員1万円, 非会員1万2000円,
学生3000円, 母親(医療者, 専門
家以外)3000円

●プログラム

一般演題・ワークショップ「妊娠
中の乳房ケアを考える」「赤ちゃん
の泣きを考える」

特別講演「赤ちゃんにやさしい病
院推進運動と子どもの健康」平林
国彦(ユニセフ東京事務所所長)

シンポジウムI「変化する社会と
母乳育児支援」

シンポジウムII「母乳育児支援:

情報お待ちしています。

告知したいイベント、セミナーなど編集室にお寄せください。開催日の約2か月前にFAX、郵送、e-mailなどでお送りいただけると幸いです。
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室/FAX.03-5804-0485/e-mail.josan@igaku-shoin.co.jp

取り組みのベーシック」

市民公開講座／教育講演「スマホ時代の母乳育児」佐藤和夫(国立病院機構九州医療センター)、ほか

●申し込み方法

FAXまたは郵送で下記事務局まで申し込みください。e-mailでも受け付けますが、ホームページから書式をダウンロードして、その書式でお送りください。事前申し込みをお願いしていますが、当日まで受け付けます。

●問い合わせ先

一般社団法人日本母乳の会事務局
〒165-0026 東京都中野区新井3-9-4

TEL: 03-5318-7383

FAX: 03-5318-7384

HP: <http://www.bonyu.or.jp>

e-mail: sympo@bonyu.or.jp

「助産師出向システム」 推進シンポジウム

●内容

すべての妊産褥婦と新生児に助産師のケアを提供し、安全・安心な出産環境を整備するため、助産師の実践能力強化や助産師の就業先の偏在是正等が課題となっています。このような状況に対して、平成25年度より本会では厚生労働省看護職員確保対策特別事業「助産師出向支援モデル事業」を実施しています。

本シンポジウムでは、今後、この取り組みを全国的に展開していくために、現在までのモデル事業の実施状況と助産師出向の必要性や有用性について情報共有していただきたいと思います。

●日時

8月2日(土)10:00~16:00

●場所

青山ダイヤモンドホール

(東京都港区北青山3-6-8)

●定員

300名(先着順)

●参加費

無料

●プログラム詳細

ホームページ(<http://www.nurse.or.jp/>)参照

●申し込み方法

FAXまたはe-mailで①氏名(ふりがな)、②所属施設名・職種・職位、③住所・電話番号、④日本看護協会入会の有無をご記入のうえ、お申し込みください。

なお、e-mailでお申し込みの場合は件名に「助産師出向システム推進シンポジウム参加申し込み」と入力ください。

●参加通知

FAXもしくはe-mailにて参加票をお送りします。

●申し込み締め切り

6月30日(月)

●申し込み・問い合わせ先

日本看護協会 健康政策部 助産師課

e-mail: josanshi@nurse.or.jp

FAX: 03-5778-8478

TEL: 03-5778-8843

第45回日本看護学会 ヘルスプロモーション 学術集会

●会期

8月28日(木)・29日(金)

●会場

熊本県立劇場

(熊本県熊本市中央区大江2-7-1)

●テーマ

火の国発(初) 健康な社会の創造
つかむ! すべての人々の健康をつながる! 看護の力で

●プログラム

特別講演「ヘルスプロモーションの起源と歩み—日本の近未来への提案」島内憲夫(順天堂大学大学院教授)

教育講演「水俣学—『失敗の教訓』を将来に活かす」宮北隆志(熊本学園大学大学院教授)

交流集会「社会的ハイリスク妊婦の妊娠期からの子育て支援」ほか

●事前申し込み

5月19日(月)~8月4日(月)

●問い合わせ先

日本看護協会

TEL: 03-5778-8831(代表)

熊本県看護協会

TEL: 096-369-3203

第55回日本母性衛生 学会総会・学術集会

●会期

9月13日(土)・14日(日)

●会場

幕張メッセ国際会議場

(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

●テーマ

母性への新たな健康支援—チームで取り組もうキュアとケアの融合

●申し込み方法

学会ホームページから、参加登録・宿泊の予約ができます。

●問い合わせ先

千葉大学大学院看護学研究科 母性看護学教育研究分野内

〒260-8672 千葉県千葉市中央区
亥鼻1-8-1

TEL: 043-226-2412

FAX: 043-226-2414

e-mail: 55jsmh2014@gmail.com

HP: <http://www.ibmd.jp/bosei55/index.html>